

▲今日からぼくたち、わたしたち1年生。

**おにいさん、おねえさん
よろしくお願ひします**

春の風物詩の一つ、入学式や入園式。
4月7日、小・中学校の入学式が行われました。

小学校の入学式では、校長先生が新入生と3つの約束を…。一つ、自分のことは自分で。二つ、交通事故に気を付けましょう。三つ、元気良くあいさつを。新入生たちの元気な返事に、先生やお母さんは安心したようです。

また、中学校では、少し大人になった新入生たち。セーラー服と詰め襟姿に少々緊張感が漂っていました。

保育園の入園式は、翌日の8日に3園揃って行われました。

新園児たちは、今日から昼間だけお母さんと離ればなれ。中にはベソをかく子も…。でもたくさんの友だちができて、明日からは楽しくなるのでは。



みんなおともだちになってネ!!



小学校のときは色んなことがちがいます。
ちょっぴり不安だけどガンバリマス。

広報
ひがししらかわ
1997 平成9年 4 No.430

人口の動き

—3月末住民登録人口から—

世帯数	893世帯
人口	3,284人
転入	19人
転出	26人
出生	1人
死亡	0人

先月と比較して6人減
昨年同月と比較して
63人減

平成9年度

予算

YUME



21世紀の に向かって。

総額43億3千740万円



子どもたちの明るい声は、元気な村の象徴です。

会計別予算額

会計名	平成9年度	平成8年度	対比(%)
一般会計	27億8,000万円	28億5,300万円	-2.6
特別会計	15億5,740万円	16億5,550万円	-5.9
国民健康保険	2億4,400万円	2億3,500万円	3.8
分収造林費	100万円	200万円	-50.0
老人保健	4億4,200万円	3億7,100万円	19.1
有線放送電話	2,800万円	2,300万円	21.7
簡易水道事業	2億1,800万円	5億1,450万円	-57.3
病院事業	6億2,440万円	5億1,000万円	21.4
合計	43億3,740万円	45億0,850万円	-3.8

三月四日から開かれた村議会定例会は、総額四十三億三千七百四十万円の村の当初予算を議決して七日に閉会しました。

平成九年度は、財源を最大限に生かし、第三次総合計画の目標とする「輝く田舎、元気な田舎」の実現に向けてスタートします。

昨年度は、「若者定住対策」に重点を置き、若者世帯用の住宅、製材工場、携帯電話の鉄塔建設を行ってきました。また、白川匠の後継者育成を図るために白川町との連携で、大工養成学校の開校準備も進めてきました。

本年度は、引き続き「若者定住」を主体に、美しい村、快適な村をめざして「環境」と「健康、福祉」に重点を置いた、よりきめ細かな施策が盛り込まれています。新年度予算特集として、私たちの生活に直接関係の深い村の予算を「生活」、「環境」、「福祉」、「交流」、「産業」、という五つのテーマに分けて、新しく始まる事業などを中心に眺めてみたいと思います。

生活

国道は用地買収へ
簡易水道第二期スタート

簡易水道事業第二期分
がスタート

特別会計の

歳出を見る

国道二五六号の
神土・越原区間は用地買収へ

広域基幹林道尾城山線
開設事業に着手

九年度に行われる主な道路整備は下の表のとおりですが、最も関心が高い国道二五六号の改良整備は、残った橋場・長瀬区間と越原小谷・角領区間で、神土ヤマカ酒店からナベまでの測量設計と越原区間の建物調査、測量設計が終了し、本年度は用地買収が予定されています。主要道の改良整備は着実に進んでいます。

平成八年度に国の指定を受けて事業に着手した広域基幹林道尾城山線の開設工事が本年度から着工。本年度は、曲坂林道の終点から中谷方面へ二百坪の区間を開設します。この林道は三町村にまたがる広域林道で、白川町佐見地区を起点に西洞の藤島峠を越え、中谷、神付、曲坂、日向を通り、加子母村小郷地区で国道二五七号に接続する総延長三十二キロの基幹道路です。

大明神川を水源とする第一期分の簡易水道は、昨年度までに五百七十一戸九十八％が給水されました。残る第一期分の工事は、平の前山地区の送配水管布設工事と電気計装工事が行われるほか、田口虎彦さん宅裏山に貯水池と田口和博さん宅上にポンプ場が整備され、八世帯の給水が始まります。また、陰地パイプス改良工事に伴い、岩屋上地内の配水管が仮設のため、布設工事を行います。これにより第一期分の工事はすべて完了。本年度は曲坂川の水源を予定とする第二期分がスタートし、航空測量図を作成して、それをもとに取水場や浄水場の位置などを決める

新年度道路整備予定

- ☆農村総合整備モデル事業
 - ・前山線（平 改良 160 m）
 - ・杉本線（日向 改良 300 m）
 - ・大明神北線（大明神 改良 560 m）
 - ・黒淵線（黒淵 開設 200m）
- ☆県営中山間地域活性化総合整備事業
 - ・中川原線（平 舗装 1,110m）
 - ・中通線（中通 舗装 440 m）
 - ・柏本、宮代線（舗装 980 m）
 - ・加舎尾線（加舎尾 開設 300 m）
- ☆村単道路整備
 - ・松山線（黒淵 舗装 70 m）
 - ・田の頭西線（柏本 開設 80 m）
 - ・曲坂墓地舗装工事（曲坂 舗装 34 m）
 - ・宮代線（宮代 取付舗装 20 m）
- ☆林道の開設
 - ・奥新田林道（大沢 開設 144 m）
 - ・穴沢林道（黒淵 改良 300 m）

基本計画の策定と地元集落の皆さんとの水利権協議や河川などに伴う県との協議を行います。いよいよ第二期分の工事が踏み出されます。

新年度の予算総額は、四十三億三千七百四十万円となり、前年度を三・八割下回りました。これは、簡易水道特別会計の減額が主な要因です。それぞれの目的によって設置した六つの特別会計を見てみると、八年度より増額となった老人保健特別会計は、高齢者の増加により、診療件数が増えているため、医療給付費の増加によるものです。

また、国民健康保健特別会計は、個人の成人病などの健康状態をコンピュータに入力するデータバンクシステムを導入するためです。

病院事業会計が大幅に増えているのは、医療機器の導入や医師の増加など、医療の充実と患者サービスの向上を図るものです。

簡易水道の減額は、大明神川を水源とする一期地区工事が終了に近づいたことによりです。



今年度から用地買収がすすめられる陰地地区

環境

下水道処理計画の調査開始 ボランティア組織を発足

生活雑排水対策に 農業集落排水と個別浄化槽を

清流白川は以前に比べるとやはり汚れているという声をよく聞きます。それは、家庭からの雑排水が大きな要因で、その対策として村では個別合併浄化槽の普及を進めています。平成八年度までの普及率は、百六十九世帯で村全体の一九割になっていますが、平成九年度も引き続き助成を行い、整備推進を図ります。

また、平地区などの人口密集地区に集合型の浄化槽「農業集落排水」を設け、個別浄化槽と併せて村全体の下水処理計画を立てるための調査を行います。

ボランティアによる 「白川の自然を守る緑の会」を発足

本年度から新たに設置された環境課では、生活雑排水対策のほか、前年度、五加地区に発足したボランティアによる組織「白川の自然を守る緑の会」を神戸、越原地区にも発足



五加地区の「白川の自然を守る緑の会」の皆さんによって美化活動が行われ、この看板が設置されました。

させ、清流白川のゴミや空缶拾いなど美化活動を進めていきます。

また、前年度に自然環境保全条例の見直しが行われ、環境保全委員会や環境保全監視員を設けて、山林や農地などへの廃棄物の不法投棄も厳しく監視をしていくことになりました。

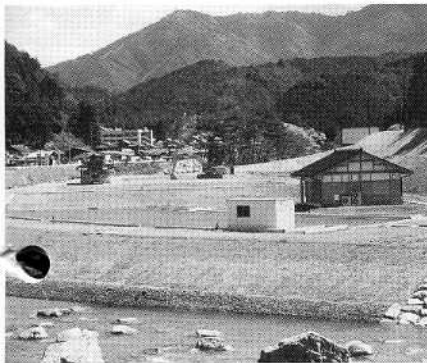
この緑豊かな美しい村をいつまでも後世に受け継いでいくためには、環境保全に対する一層の強化を図っていかねばならないと考えています。

全村公園化構想 新たに二つの公園を計画

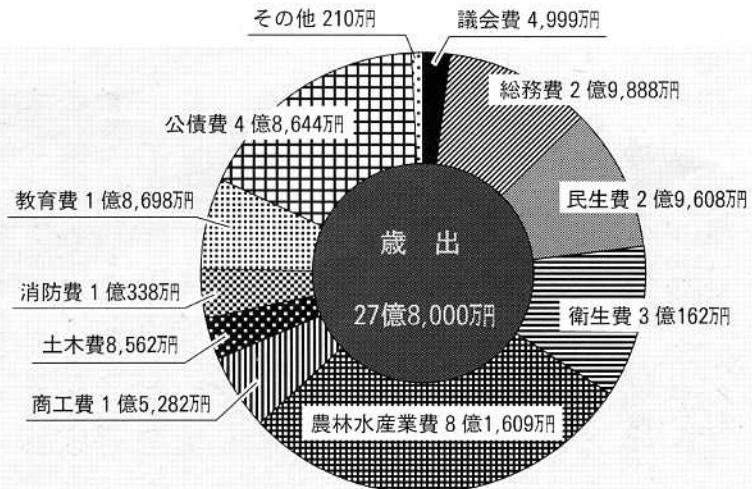
平成四年度に美しい自然環境を生かして十か所の公園を整備しようとして策定された全村公園化構想。これまでに三つの公園が整備され、現在、平にも中川原公園（仮称）が今年度の完成を目指して工事が進められています。また、新たにハナノキ公園（仮称）とツチノコ公園（仮称）を計画、今年度は、ハナノキ公園の整備を予定しています。

ハナノキ公園は、黒淵地区の石造物群の保全を図りながら、文化の香り漂う落ち着いた公園を計画しています。一方、ツチノコ公園は、下親田地区に祭られる樋の子神社周辺の左広川沿いに整備され、ツチノコ探索イベントなど、ふれあいを重視した公園を計画しています。

いずれも清流を生かした親水公園で、地域や都会の人たちの憩いの場として建設されるものです。



今年度の完成を目指して整備がすすむ中川原公園（仮称）



一般会計の歳出を 科目別に見る

一般会計は、前年度を二・六割下回る二十七億八千万円となりました。この一般会計のおもな使い道は、五つのテーマに沿って上段で紹介していますが、科目ごとにその歳出を見てみると右のような円グラフになります。

福祉

東白川病院通院バスを運行 在宅健康管理システムを導入

お年寄りの健康管理から 知識や技能の発揮まで

お年寄りが安心して日常生活を送れるよう、家庭にしながら自分の体調がチェックできる在宅健康管理システムを導入します。

このシステムは、家庭に設置された端末機と保健センターのホストコンピュータをN.T.T回線を利用して送受信するもので、血圧、心電図、脈拍、体重、尿検査などの入力・測定や保健婦からのメッセージや問診が送信されます。



こうしたお年寄りたちの技術が発揮できるように考えています

今年度は、四十台の端末機を健康管理意識の高い、高齢者と同居されている世帯などを中心にモデルとして設置される予定です。

そのほか、お年寄りたちが地域での活動に利用していたく集会所を曲坂地区と黒淵地区に建設します。

この集会所の特徴は、段差を減らし、手摺を設置するなど、お年寄りが利用しやすいように工夫を凝らした設計がされ、今後、高齢者福祉施設を建設していくうえで、モデル施設としての期待が高まっています。

また、こうしたハード事業に加え、お年寄りが持つ知識や技能が、都市住民を対象にした農山村体験余暇活動に発揮できるように、保有技術や意向を把握する高齢者人材バンクを設置するためのビジョンを策定します。

一人暮らしのお年寄りの自宅に

緊急通報装置を設置

若者が都会へ流出する中、お年寄りの一人暮らしが増えています。そういったお年寄りのために緊急通報装置を設置します。

この装置は、お年寄りがボタンを押すことによって、緊急通報センターへ通報が入り、お年寄りとの通話ができるシステムになっています。体の具合が悪くなったり、緊急な事態が発生した場合、手元のボタンを押すだけで連絡ができ、通話が不可能なときは、あらかじめ決めてある近くの協力員が自宅に駆け付けて適切な対応を早くすることができま

す。本年度は、十世帯の一人暮らしのお年寄りの家に設置します。

医療の充実と送迎サービス

東白川病院では、村民の健康を守るために、在宅訪問診療や新看護体制など積極的な取り組みをしてきました。さらに本年度から医師の三人体制やC.Tスキャナの導入など、診療体制や医療機器の一層の充実を図っています。

また、患者さんにはお年寄りの方が多く、昨年五月に行った調査の結果、七十歳以上のお年寄り六百十九人の内、三百八十六人の方が東白川病院を利用されています。その内、約百人の方が通院の手段として、定期バスを利用され、そのほかの方は家族の方の送迎や自分で自動車やバイクでこられます。

そういった家族の方の負担や交通

大きな割合を占めているものうち総務費には、特別職や職員員の給料、庁舎の維持管理、また、今年度新たな事業で、住民票や印鑑証明などをコンピュータで処理し発行するマスト導入事業が含まれていますが、前年度は、携帯電話や自動車電話の移動通信サービスの鉄塔整備事業が大きなウエイトを占めていたため、前年度対比は四五・五割と大幅に減少しています。

老人福祉事業や保育園などの児童福祉事業が含まれている民生費は六・四割の減、衛生費は簡易水道事業の第一期分がほぼ終了したため、簡易水道特別会計への繰出金の減額により、前年対比一七・二割の減、また、若者定住対策として、昨年度、曲坂に住宅を建設した土木費も事業の終了により、四六・八割と大幅な減少となっています。

大幅な増額となっているのは、農林水産業費の三三・八割の増。これは上段で紹介している最新鋭の製茶機械の導入や黒淵地区と曲坂地区の集会所の建設、そのほか公園整備によるものです。村の借入金償還金である公債費は、四億八千六百四十四万円を計上しました。



▲今年度から運行される通院バス

事故の心配を解消するために、新しい試みとして通院バスを運行します。送迎は、ふるさと企画に委託してマイクロバスで行われ、各集落へは火曜日が五加方面と神付、加舎尾方面。水曜日は曲坂、日向方面と親田方面。木曜日は栃山、黒淵方面と西洞、中谷方面。金曜日は大明神方面となっています。

また、六十五歳以上の身体障害者手帳の交付を受けている方と七十歳以上の方で、病院を利用される方を対象に、定期バス無料券を発行することもあわせて行います。

東白川病院は、村の唯一の医療機関として、大きな役割を果たしており、今後も前向きな病院運営に取り組んでいきます。

交流

中学三年生六泊七日海外研修
新しい「森の交流大使」が着任

学校訪問や

ホームステイで交流

村では、本年度、中学三年生を対象にオーストラリア六泊七日の研修を実施します。

この研修は、生徒たちに海外での交流や体験の場を与えることにより、広い視野と豊かな心を持った生徒に育成するというもので八月下旬に予定されています。

研修メニューには、東白川中学校と同規模の学校訪問、ホームステイ、農場や牧場体験、また、オーストラリアを代表する都市シドニーの市内観光などが盛り込まれています。

この研修を実施するにあたって、昨年十月に校長先生をはじめ五人の関係者が、研修行程を想定しながら、治安、交通、宿泊等、また、生徒たちが交流体験、感動など、目的に合った研修ができるかの事前調査を行いました。

その結果すべての面で良い感触を得、ニューサウスウェルズ州の教育省も受入に積極的であり、研修を実施することになりました。

今後、こうした研修を行うことによって、子どもたちが国際的な舞台の上で将来活躍してくれることを期待したいものです。

先輩の「森の交流大使」に 負けないように頑張ります



「森の交流大使」として、
味由子さんと
栗田公奈さん

「森の交流大使」として、二年間務めあげてくれた水谷理佳さんと広江加奈さんに代わって、この四月から新しいお二人が赴任しました。

このお二人は、大垣市の栗田味由子さんと安城市の田内公味子さん。任期は二年。新しくこもれびの里に誕生する「食の体験館」で、都会の人向けの料理アドバイザーや様々な山村体験企画、また、村民の豊かな余暇の研究など広範囲にわたって活動します。村に定住される水谷さんと新旋風を吹かせてくれるのでは。

一般会計の

歳入を見る

前ページでは、科目別の一般会計歳出について見てきましたが、ここではこの歳出を支える歳入について見ていきたいと思っています。

歳入は、村が自主的に収入できる「自主財源」と国や県に依存する「依存財源」に分けられますが、依存財源は、歳入全体の八六・四割にあたる二十四億百九十三万円となり、村の財政の大きな支えとなっています。

依存財源の中でも国から交付される地方交付税は、歳入全体の五二・九割となる十四億七千百万円が予定されています。

また、茶工場に製茶機械を導入する高付加価値型農業等育成事業補助金などが含まれる県支出金は、前年度より六千五十三万円増の五億一千四百三十二万円を見込んでいます。

ホームヘルプサービスや合併浄化槽の設置に係わる補助金が含まれる国庫支出金は、小学校の夜間照明工事が終わったことにより前年度対比二四・五割の減額となっています。

これに対し、自主財源の主体

産業

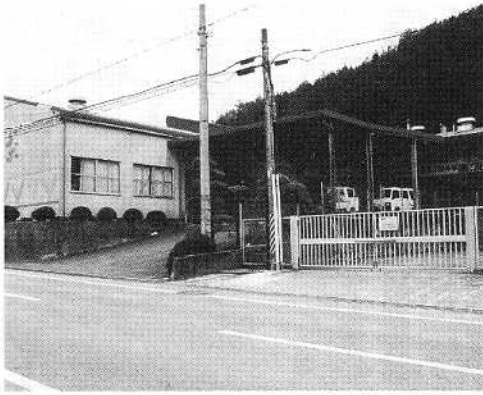
最新鋭の製茶機械を導入 雨よけハウス茶園を設置

将来の一本化を目指して

白川茶生産体制の再編

新しい白川茶生産体制再編の一環として、神土茶生産組合、黒瀨茶生産組合、そして越原製茶組合と五加茶生産組合の一部が加わり新組合を発足します。

この新組合では、神土茶工場の施設を利用して自動化、省力化を目的に最新鋭のコンピュータ制御の製茶機械を導入するとともに、良質な生茶を生産するため、生産者ごとに肥



最新鋭の製茶機械が導入される神土茶工場

料を与える時期や管理方法などを指導して、均一な荒茶の生産を行います。

今年度はこうした生産基盤の強い夢のある東白川茶業振興ビジョンを策定し、全村の一本化を目指します。組合の合併と新しい製茶機械の導入は、経費の削減と販売高のアップにつながり、産地競争の厳しい情勢の中、白川茶の将来をかけた事業といえるようです。

雨よけハウス茶園で

一石二鳥

茶生産組合の全村一本化に向けて、茶園での生葉生産にも意欲的な動きが見られるようになりました。

例年、一番茶の摘採時期は、五月中旬から下旬ですが、これを早めようと約五百平方メートルの雨よけハウス茶園の設置を計画しています。

この茶園は、天候に左右されないほか、暖房空調設備によってハウス内の温度を調節し、摘採時期を約1ヶ月早めることができます。

それにより、早期に摘み取られたお茶は、ゴールデンウィークでの新



皆さんが丁寧に採んだ生葉だからこそ大切にしなければいけません。

茶サービスのPRなどにも活用され、また、高価格で取り引きされる第一回目の共販会にも出荷することができ、まさに一石二鳥というものです。

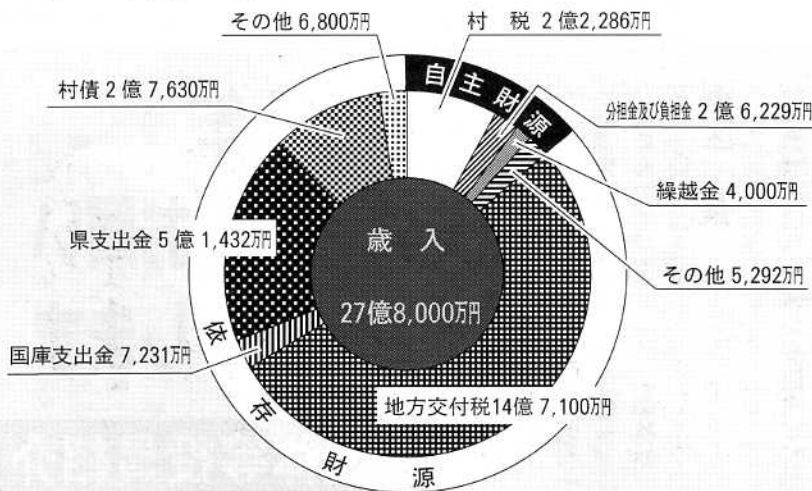
生葉運搬に

コンテナボックスを導入

今年度は三台分の生葉運搬用コンテナボックスを試験的に設置します。

このボックスは、生葉を茶園から工場までトラックで運搬するときに使われるもので、ファンによってボックスの底板の全面から送風され、生葉の重圧で生じる葉焼けを防止し、従来のコンテナによる運搬方法に比べて、生葉の鮮度を保つことができます。

これらに事業により、生産者の所得と生産意欲の向上が期待されます。



となるのは、村民税や固定資産税が含まれる村税です。今年度は前年度に比べ三・九割の伸びを見込んでいます。地場産業や観光の振興などによって自主財源が増えるのが理想ですが、国や県からの交付税や補助金で賄い、住民の皆さんの負担にならないよう配慮したやりくりといえるようです。



東白川村消防団入退団式

平成九年度の消防団入退団式が、三月二十三日はなのき会館で行われ、十四人を送り出すとともに、十一人の皆さんを新たに迎えました。

式典では、退団された十四人の皆さんに村長から感謝状と記念品が贈られ、退団者を代表して、十五年間在団された古田節也さん（柏本）が謝辞を述べられました。また、新入団者への辞令交付のあとには、安江満さん（黒淵）が代表して入団の誓いを宣誓。四月からは、この新しい戦力を加えて、一層消防団活動の充実が図られます。

入退団者と新年度の幹部辞令を受けた皆さんは次のとおりです。（敬称略）

■退団された人（十四人）

【本部】副団長 古田節也、古田俊之

▽分団長 伊藤保夫

【第一部】副分団長 古田雅彦▽部長

安江義文、桂川明義

出会いと

別れの季節

【第二部】分団長 安江弘武▽副分団

長 小池謙多郎▽部長 永瀬英登

【第三部】副分団長 今井稔▽部長

粥川孝志、安江正隆、安江達哉、三戸

行美

■入団された人（十一人）

【本部】伊藤秀人（加子母村）

【ラッパ隊】今井隆良（大口）

【第一部】伊佐治正敏（中通）、今井

良樹（曲坂）、田口清隆（平）

【第二部】近藤憲二（柏本）、今井正

浩（大口）、神戸正紀（平）

【第三部】安江満（黒淵）、島倉朗

（大明神）、渡辺泰司（日向）

■幹部辞令を受けた人

【本部幹部】副団長 安江祐策▽本部

長 稲垣進▽ポンプ部長 田口幸生▽

同次長 安江秀利▽訓練次長 安江誠

▽警備兼ラッパ部長 安江敏治

【本部】本部部长 安江任弘▽副部长



退団された皆さん、ご苦勞様でした。

■桂川憲生

【ラッパ隊】隊長 早瀬尚史▽副隊長

■荻田隆司

【第一部】部長 安江友則▽副部长

■木村恒久、稲垣隆

【第二部】部長 安江雅彦▽副部长

■樋口孝佑、熊崎茂光

【第三部】部長 長谷川正利▽副部长

■荻田正敏、桂川和也

今年1年
よろしくお願
い
します

各団体等役員紹介

平成九年度の各種団休長や役員
の皆さんが決まりました。

この四月から皆さんの代表として
ご苦勞を願うことになったのは、次
の皆さんです。（敬称略）

区長

【神土】田口 耐（下親田）新任

【越原】牧野 吉貴（日向）

【五加】今井 猛夫（柏本）

事務嘱託員 組長

【神土】大口 安江進▽平 安江重

治▽下親田 永瀬英登▽上親田

古田澄雄▽中通 安江好弘▽神付

山下雅春▽中谷 河田康▽加舎

尾 田口和道▽西洞 安江正彦

【越原】曲坂 荻田正直▽日向 村

雲孝平▽陰地 河村繁治▽栃山

教職員人事異動

四月一日付けの教職員の人事異動は九名の先生が転出や退職され、八名の先生が着任されました。

異動のあった先生は次のとおりです。

転職・退職された先生

(敬称略)

▲東白川小学校▽教諭 福井裕子「上麻生小学校へ」、神戸玲子「加子母小学校へ」齋藤斎「岐南町東小学校へ」渡辺直美「美濃加茂市西中学校へ」、日下部花子「多治見市南姫小学校へ」
▼事務 熊崎真知子「退職」
▲東白川中学校▽校長 和田義昭「可茂教育事務所社会教育課へ」▽教諭 山内茂弘「白鳥町大中小学校へ」、渡辺(市川)仁「可児市蘇南中学校へ」
▲東白川村教育委員会▽社会教育主事 田口等「八百津中学校へ」

新しい先生紹介します

(敬称略)

【東白川小学校】



教諭 左合 悟
(岐阜市)
長良西小学校から
37歳



教諭 島倉 誠
(東白川村)
神淵中学校から
42歳

【東白川中学校】



講師 鈴木 夕子
(川辺町)
臨時採用
22歳



教諭 二村 政輝
(岐阜市)
笠松中学校から
32歳



校長 高井 厚
(美濃加茂市)
可茂教育事務所から
48歳



事務 清水 和恵
(河合村)
三和小学校から
21歳



教諭 川口 珠世
(静岡市)
新採用
22歳



教諭 小西 智大
(美濃加茂市)
西可児中学校から
25歳

村の退職及び新採用

平成九年度の人事異動で、三名の方が三月三十一日付けで退職され、新しく四月一日から三名の方が仲間として働くことになりました。
退職される方と新採用の方は次のとおりです。

長い間「苦勞」さまでした

(敬称略)

【退職】「三月三十一日付け」

古田 政春(住民課長)

安江 恵(五加保育園)

村雲加寿美(東白川病院)

紹介します新しい仲間

(敬称略)



杉山 照幸
(東白川村)
東白川病院
医師
33歳



渡辺 泰司
(日向)
保健福祉課
保健福祉係
26歳



村雲かおり
(神付)
五加保育園
保母
20歳

◆PTA

安江政義▼黒淵 高木孜▼大明神
 安江祐之
【五加】▼柏本 伊藤重信▼宮代 今井哲▼大沢 今井菊夫▼下野 今井克幸▼久須見 井戸鉄夫

【小学校】会長 樋口春市(中谷)

▼副会長 今井利文(下野)、今井明生(大沢)

【中学校】会長 古田茂樹(久須見)

▼副会長 野村孝(柏本)、牧野秀男(大明神)

◆子ども会

会長 安江正樹(平) ▼副会長 安江雅人(下親田)、安江透守(日向)、瀨瀬英雄(柏本)

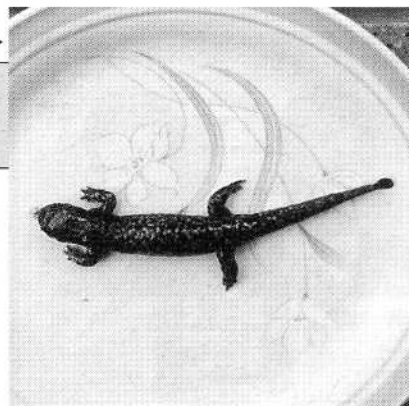
◆高校生保護者会

会長 今井武司(陰地) ▼副会長 栗本重秋(柏本)、安江正徳(下親田)

◆婦人の会

会長 松岡美代(陰地) ▼庶務係 安江和子(神付) ▼神土支部長 服田朋子(平) ▼越原支部長 村雲隆子(曲坂) ▼五加支部長 今井節子(大沢)

元気村の『出来事情報』



山水の入水口に詰まっていたと中通の中島芳造さん。あんこう(カスミサンショウウオ)

講演会の中で中谷氏は、「交流には真心が必要」と話され、参加した七十名の皆さんは熱心に聞き入っていました。



「活性化の達人」利賀村国際山村文化体験村事務局長中谷信一氏

同じ過疎の村で、今、ピカピカに輝いている富山県利賀村国際山村文化体験村事務局長中谷信一氏を講師に迎え、三月十九日、はなのき別館で「夢育て講演会」が行われました。
利賀村は、富山県でも岐阜県よりに位置し、冬には雪で交通が閉ざされるなど非常に条件の厳しい山村地域。しかし、「こんな村を元気付けよう」と立ち上がったのが、村の職員である中谷氏で、「世界演劇祭」や「世界そば博覧会」など国際的なイベントを開催し、村を一躍有名にしました。また、そばのルーツといわれるネパールとも親交を深めるなど、まさに交流を通じて地域振興を行っています。

わずか1000人の村に
35万人の観光客を!!

活
性

村が掲げる「輝く田舎、元気な田舎」を創出するためには、まず「人が輝かなければ」と本村と



各賞に受賞された皆さん

五・三で、それぞれ優勝しました。大会本部が設置されたトマトの選果場では、参加者にうどんをサービス。また、豪華景品があたる抽選会も行われ、身も心も温まる大会となりました。

今年で十二回を数える「東白川中部あまご釣り大会」が、三月九日に越原地区内の白川で行われ、三百余名の太公望が熱戦を展開しました。参加者の多くは村外の皆さんで、静岡県からの小沢すま子さんは今回で五回目の参加。小沢さんは「毎年楽しみにしている」と今年もご夫婦で釣りを満喫されました。
午前六時の号砲を合図にスタートしたこの大会。午前十時の検量まで四時間の熱戦を制したのは、大漁賞が塚本信市さん(北方町)の七十七匹。大物賞は田口達茂さん(名古屋市)の二十

何と4時間で70匹!!
東白川中部あまご釣り大会

交
流



朝早くから川に釣り糸をたれる太公望たち

さん(加舎尾)は、「民謡は流行がなくていい。村にも多くの民謡が埋もれており、一度歌いたい」と発掘に意欲満々。村に伝わる民謡が目を浴びるのも近いようです。



歌に力が入っている
東白川民謡教室の安江紳次さん

この大会には、村の民謡教室や三味線クラブをはじめ、加子母、下呂といった町村をまたいだ民謡愛好者十二グループ、百七名が参加し、練習の成果を発表されました。
参加した皆さんの歌や三味線は、いづれ劣らぬものばかりで、客席からは大きな拍手が贈られていました。
この大会の責任者、民謡教室の会長今井勝子

民謡を愛する皆さんが
本村に大集合!!

伝
統



美しい音色と歌声の三味線クラブの皆さん

話題集まれ!

竣工

2社の携帯電話の使用が可能に!!



開局式でテープにはさみを入れる村長ら

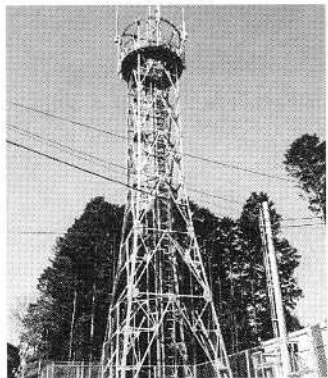
今や十人に一人が所持しているといわれる携帯電話。このほど、神土中通に無線基地局が完成し、三月八日からNTTドコモと東海デジタルホンの二社の携帯電話が使用可能となりました。

村では若者定住や村の活性化を推進していくために、国や県の補助を受け、携帯電話の基地局をこの二社と協力して昨年九月から建設を行ってきました。

そして、三月十二日には三十六名の関係者を迎えて開局式が行われ、現場ではテープカットが、また、はなのき別館では式典が行なわれ、開局を祝いました。

情報社

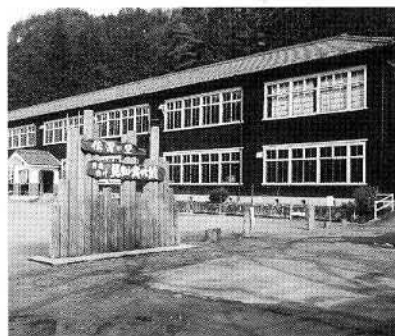
会の世の中、携帯電話は村民にとって、大きな役割を担うことでしよう。



中通の山中にそびえ立つ無線基地局の鉄塔

誕生

伝統技術の継承に期待!



この施設の一部を借りて濃飛建設職業能力開発校が開校しました

「建築技能者の後継者を育成しよう」と四年前から開校に向けて準備を進めてきた「濃飛建設職業能力開発校」の開校式・入校式が四月二日に多数の関係者を迎えて行われました。

この学校は、白川町の二つの建設関係の組合と東白川木造建築協同組合が母体となって、下油井駅前の「見知り食作館」(旧大山小学校)を利用して設立された大工さんの養成学校です。

この日、入校した十四人の皆さんは、週一日の授業を二年間受けます。

村からは三人の若者が入校し、日向の梅田美孝さんは「知識や技術をしっかりと身に付けたい」と抱負を語ってくれました。

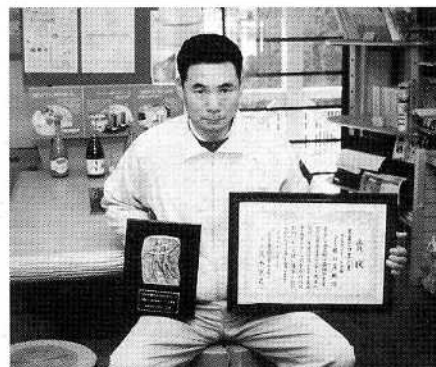
この学校の誕生は、木材産業を経済の柱とする村にとって、待望の施設といえるようです。



村から入校した3人の皆さん。左から安江裕貴さん(曲坂)、安江圭さん(曲坂)、梅田美孝さん(日向)

栄誉

このユニークな名前が今、全国区に!!



受賞をはずみに「とまとのまんま」をどんどん売りたいと安江チーフ

今や東白川村といえば「つちのこ」か「トマトジュース」と言われるほど有名になった「とまとのまんま」が、このほど平成八年度全国優良ふるさと食品中央コンクールで、見事に国産原料利用部門の(財)食品産業センター会長賞の栄誉に輝きました。

このコンクールには、全国からより優れた特産品が寄せられており、「とまとのまんま」は岐阜県を代表して出品され、セールスポイントの地元で採れたトマトを原料に、塩分を少量加えただけで、添加物を一切使用していないのが認められたものです。

製造・販売元のふるさと企画の安江チーフは「農家や利用してくれた皆さんのお陰」と喜びの声を聞かせられました。



味とユニークな名前が都会でうけています

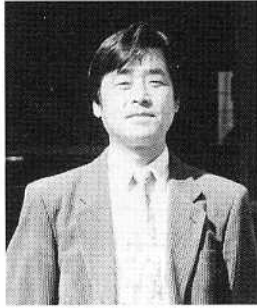
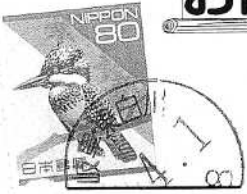
なごやか村の『人情報』

お便り

11年間ありがとうございました

白川町上佐見

田 口 等



八百津中学校教諭
田 口 等さん

東白川中学での八年間、そして教育委員会での三年間、合わせて十一年もの長い間、村民の皆さんには、公私にわたり大変お世話になりました。この十一年間の私のスポーツとの関わりを十大ニュースとしてまとめてみました。

- 一、東白川村にサッカーブームを起こす。
- 二、中学校バスケットボール部で県大会六度出場。
- 三、加茂郡体育大会万年七位から六位に浮上。
- 四、村民ソフトボール大会で教員チーム優勝。
- 五、加茂駅伝大会で中学生男子優勝。
- 六、親子スキー教室、二度のバスのハプニング。
- 七、村民運動会に軽スポーツを導入。
- 八、村軟野連の飛龍クラブで元エースとして活躍。
- 九、ふれあいスポーツ大会に家族で出場。
- 十、スポーツを通して東白川の方と仲良くなれた。

本日は、十番目のニュースが一番の財産であり、思い出となりました。東白川村の益々の発展と皆さんのご健勝を祈念します。ありがとうございました。

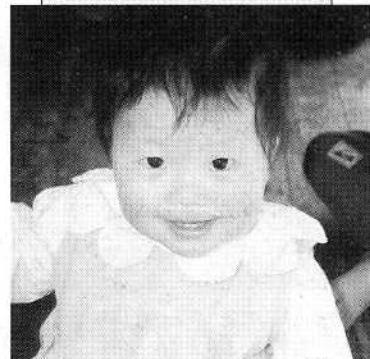


五加神社杵振りまつりより

わが家のスター



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」もみれば1歳の子の顔が...



▲安江明音ちゃん
(昭久さん・洋子さん
=上親田)



▲桂川 桃ちゃん
(恒裕さん・葉子さん
=黒淵)

仲間をたずねて

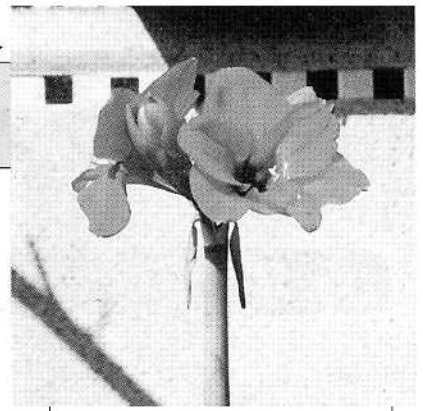
“物を大切にしよう”とリサイクルが注目されていますが、この趣味もリサイクルの一つではないでしょうか。

今回は発足して五年余りというコトッククラブを訪ねました。このクラブは、着れなくなった服や着物などの古着を利用して、飾り物やバッグなどをつくるパッチワークを趣味とする人たちの集まりで、仕事や家事の合間の余暇を利用して作品づくりを行っています。

このクラブに所属する十名の皆さんは、毎週木曜日、平の田口晴美さん宅に自分の手掛けている作品を持ち寄り、色合わせや縫い方など話し合っています。



皆さんの作品は全部手縫いでミシンは一切使っていません。「手間がかかるし、世界に一つだけの作品」と皆さん。そのため出来た作品は大事にされているようです。このクラブには、以前まで講師の方が指導に来てみえましたが、今は都合でお休み。それでも皆さん、本や他の人の意見を参考に、自分の感性を十分に発揮した作品を作っていました。



草丈92cmのアマリリス 樋口善作さん(神付)

知ってほしい『生活情報』

社協から

ご利用ください
心配ごと相談所
今年も例年通り
心配ごと相談所を
開設いたします。
民生委員さん十
名が、毎月二名ず
つ交替で親身にな
って相談にお答え
いたします。相談
料は無料。プライ
バシーは保証いた
しますので安心し
てご利用下さい。
尚、開催日時に
ついては、随時有
線放送にてお知ら
せいたします。

課題を追う

カンキョウのことを カンコウしてみよう

Ⅱ 役場に環境課誕生Ⅱ

四月から役場に「環境課」が生まれました。
あっそうか……と何となく分ったような気分
の人が多いいと思いますが、それは「環境」と
いう言葉が、今の社会の共通課題のように言われてい
るからでしょう。

しかし改めて「環境」とは何か……と問われると、分
たようで分らないことが多くあります。
まず「自然的環境」と「社会的環境」に分けて考えてみ
ましょう。

今、一番問題になっているのは自然的環境の変化です。
大気・水・土地・植物・動物・気候、どれをとっても悪い
方向へ変化しているのはまちがいありません。

では、誰にとって悪い方向になっているのでしょうか。
人間にとって……と、つい答えそうですが、正解は「地球に
とって」です。自然とは地球そのものであり、人間は地球
に生かされているからです。

自然的環境と社会的環境を合せて、私たちの暮らしに関
係する部分を「生活的環境」と呼びます。

新しくできた「環境課」は、村民の皆さんの生活環境
を守り、あるいは整備することが仕事です。

「守る」と「整備する」は、時として「保存」と「開発」
という相反する要素がぶつかり合います。

水道や下水処理の事業は、開発整備することによって水
という地球の最重要な環境を守ることになります。

一方、山林や農地、植物などは保存し、現状を護る努力
を続けしないと、一度失ったものは取り返すことは困難です。

また、空カン、ゴミのポイ捨てなどをやめて、美しい景
観を守ることも、大切な生活的環境の維持になります。



▼ 芯と皮を使って

無駄なし料理▲

野菜の皮や芯は捨てる
もの、と思っていま
せんか。野菜はほと
んどどの部分が食
べれます。残さず
使いきる工夫をし
てみませんか。

(人参の皮のかき揚げ)

皮は3センチ長さに
切り、ほぼ同じ量の
玉葱を合わせ、小麦
粉をまぶします。卵
、小麦粉青のりで衣
を作り、揚げます。

(大根の皮の金平)

短冊切りにした大
根を ごま油、サ
ラダ油を混ぜた油
で炒め、酒とソー
スで味付けします。

(なすの皮の味噌炒め)

皮は水にさらして
あくをとり水気をふ
き取ります。

ごま油で炒め、色
が冴えたら、水につ
け戻した干しえびを
合わせ味噌、砂糖、
えびの戻し汁で調
味する。残飯の量も
減ること間違いなし。

▼ サンドイッチの語源▲

サンドイッチ、これは
イギリスの由緒ある
伯爵の名前です。伯
爵は賭け事好きで、
トランプの最中に召
使に命じて、パンを
薄く切ってその間に
牛肉をはさんだもの
を作らせ、食べなが
ら勝負に熱中してい
たそうです。

しかし、この無作法
な食べ方がいつしか
有名になり、『サン
ドイッチ』として広
く使われています。
一七六五年頃から
イギリスの食卓にサ
ンドイッチがのるよ
うになり、時代とも
にやがて外観はきれ
いで、食べる人の好
みで中身が変化する
ようになっていった
そうです。イギリス
では、軽食ですがア
メリカではむしろ一
食分の食事で、レタ
ス、トマト、マヨネ
ーズ、ひな鳥などを
はさみ、数種類を積
み重ねナイフとフォ
ークで食べます。



行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会】

現金 5 万円 = 中島和重 (平)
現金 5 千円 = 匿名
現金 7 千円 = 匿名
エアーマット 5 台 =
美濃加茂市社会福祉協力会

【社会福祉指定】

現金 2 万 8 千円 = 今井克次 (平)

【せせらぎ荘整備指定】

現金 10 万円 = 安江忠昭 (陰地)

【はなのき別館図書室】

本 40 冊 = 田口しずえ (平)

【社会体育指定】

バレーボール審判台 2 台
ネット 2 張 = 匿名

【神土保育園】

現金 5 万円 = 古田政春 (平)

【越原保育園】

現金 5 万円 = 古田政春 (平)
楽器一式 =
平成 8 年度保護者退会者 8 名
掛け時計 2 個 = 平成 8 年度卒園児一同

【五加保育園】

現金 5 万円 = 古田政春 (平)
幼児用室内ブロック 1 箱 = 安江 恵 (加舎尾)

健診は未来への羅針盤

健診の目的

病気の発見だけでなく、健康状態の確認を！

1. ふだんの自分のからだからの状態を知る第一歩となる。
2. からだのメッセージをキャッチすることで、日常の生活のあり方や加齢による変化を知ることができる。
3. よりよい楽しい人生を築くために、蓄積されたデータを読み、早めにライフスタイルの変容を考え、対策を立てるきっかけとする。

★ 5 月から各種検診が始まります。

★ 見逃さないよう、受けましょう。

保健婦だより

住民サイトの横割り組織に 機構改革

あなたの声が

道づくりにかかわります

防霜ファン

使用前の点検を!!

村は、本年度から住民サイトに立った行政課題ごとの横割り組織を採用することにしました。

さらに、従来の七課を六課とすることによって、機構に弾力性を持たせ、職員の増加抑制と住民サービスの向上をねらいます。

環境課の新設で、従来各課に分散していた廃棄物対策、自然保護、開発規制、下水対策、水道など環境保全と整備をまとめて担当します。そのほか住民課には戸籍、証明、税務、年金、国保など直接住民に接する窓口業務をまとめ、農林業、商工業の産業分野は産業振興課としました。また、保健福祉課は保健と福祉と医療の連携を進め、総務課は財政を含めた行政運営、建設課は村道、林道、農道や土地改良などの建設関係を行います。

道路審議会(二十一世紀の生活とみちを考える委員会)では、皆さんのニーズに対応した道づくりを進めるために、国の新たな道路計画の基本的考えなどを「中間とりまとめ」という冊子にまとめました。

また、中部地方建設局でも同様に「中部の道路整備の将来ビジョン(案)」を作成しました。

二十一世紀の道路のあり方について、あなたの自由なご意見をお聞かせください。

「中間とりまとめ」「中部の道路整備ビジョン(案)」の入手を希望される方は、お問い合わせください。

■岐阜県土木部道路建設課 ☎ 〇五八―二七二
―一―一 もしくは、役場建設課建設係有線
二一七―一まで

お茶の季節が近付き防霜ファンが稼動する時期がやってきますが、ご使用の際には必ず次のことをご確認ください。

- ① 施設の点検と試運転は必ず行い、ファンの回転確認をしてください(試運転は使用前直前にお願います)。万一、不良箇所を発見した場合、直ちに修理手配してください。
 - ② 停電の際、自動的にスイッチが「切」になる機種があります。電気の回復後、スイッチが「入」になっているか必ずご確認ください。
 - ③ ファンが故障した場合のメーカー代理店、電気工事店等の連絡先を再確認し、緊急時に備えてください。
- 【中部電力株】 ☆金山サービス ☎ 〇五七六―三
二一〇五四 ☆白川サービス ☎ 二一〇七四
【役場産業振興課農林係】

輝く田舎の『文化情報』



神土保育園卒園式より

旬しゅんの話

焼く

土をこねて皿や茶碗を焼く……とても楽しいことです。

下の高齢者生きがい事業の作品を見て下さい。作っている指先の動きと、その指先に込めた気持ち、ほのぼのと伝わって来るようです。

これが、寸分違わぬ正確な円形だったら、味もそっけもありません。

完全な円形でないのに、完全な円形より丸く感じる。本当に丸いというのはこういうのを言うのだと思います。

肉や野菜を炭火で焼く……とてもおいしいバーベキュー。

時にはもうもうとした煙に包まれても、一級品の霜降り肉でなくても最高においしい。

その炭を焼く……。このごろは松の間伐材がバーベキューに最適の炭になっています。

復原された炭竈がこもればの里で煙を吐いています。

火を使って焼く……人類の文化の根源がそこにあります。

私の作品

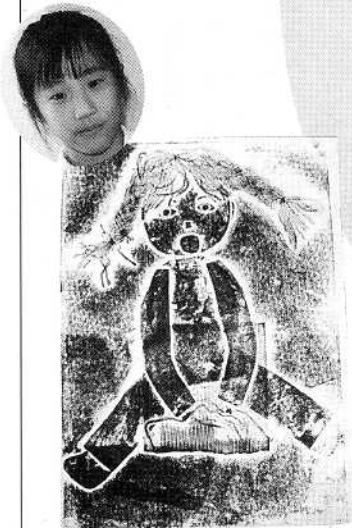


▲「ぼくの顔、わたしの顔」
平成8年度越原保育園卒園児13名

▲「本立て」
東白川小学校6年生
村雲美由紀さん(平)

▶「背もたれイス」
東白川中学校2年生
村雲弘隆さん(中谷)

▶「フラワースタンド」
東白川中学校2年生
田口若菜さん(大明神)



▲紙版画「そりすべり」
東白川小学校3年生
桂川唯さん(栃山)



▲陶芸「茶わん」
古田末吉さん(平)
高齢者生きがい事業



▲陶芸「茶わん」
安江けさのさん(上親田)
高齢者生きがい事業

心のオアシス

東白川村百科

安江

東白川村の中で一番多い苗字は、群を抜いて「安江」です。

安江家の始祖である安江左衛門尉政氏は、はじめ進藤と名乗り伊勢の大杉谷に住んでいたが、嘉慶二年（1388 今から600年以前）、ときの神土邑黒岩へ移り住み、名主の女婿となつて安江氏を名乗るようになったと、村誌にあります。

この左衛門尉には三人の息子があり、佐見郷吉田（現白川町佐見）や野原（現白川町河東）に館や山城を構えるなど、白川筋一帯に勢力を伸ばしました。

東白川ではその後、神土の邦好家が安江の本家となり、村内に一族を増やして行きました。

邦好家に伝わる「安江氏根元之由緒記」にはこの間の由緒が綴られています。

さて、この安江という苗字、いったいどのくらいあるのでしょうか。

明治5年の調べで、総戸数487戸のうち199戸（40.1%）平成元年の調べでは総戸数921戸のうち283戸、（30.1%）。2位の今井128戸を引離してまだまだ1位が続くようです。

俳句

冬ごもり読み散らしたる古書新書
春惜しむ床に淋派の花鳥図
雪ながめしめやかに参るお多賀様
天をつく雪の伊吹山滋賀の旅
ねこ柳岸に時節の使者として
水仙の芽今年も命あったのか
一輪さしの寒梅居間に満開す
人里に野鳩たわむる旅を行く
手を握り家へ帰りたいと涙声（八百津蘇水園にて）
背負ふ人形わが子と思ふか今日もまた
雪一面こども二人で遊ぶ過疎
骸骨の河原ねこやなぎの命
亡き人を偲ぶ十余年寒鴉
店先の鮫鱈へおどろく客の声
寒中の店に雀の赤裸
正月の三ヶ月様も拝みけり

日向	安江	一滴水
栃山	安江	市助
下野	安江	乙村
平	安江	武子
神付	村雲	とみ子
西洞	中島	甲子生
栃山	桂川	喜郎
平	今井	統子

あなたも作品をお寄せください—初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。奇数月の20日までに神土河田重喜宛に出して下さい。

祝い事終えて帰りの春しぐれ
やわらかき土の匂いや若采つむ
井戸水の音は安らぎ夜の白む
学舎に村人植えし桜花
雪おとす小枝に早も芽吹あり
カーテンも絨毯も変へ老の春
空青く紅梅—もと緋の扇
はるかなる風と思ふやはばたけり

曲坂	菊田	清美
中通	村雲	みか子
平	安江	すみ
西洞	河田	重喜

本

「さくら道」

中村 儀朋 著

太平洋と日本海を桜で結ぼう。平和の祈りを託して2,000本の桜を植え続け、病で短い生涯を閉じた国鉄バス車掌の佐藤さん。彼と桜との出会い、人の喜びを自分の喜びとし、ひたむきに生きた一人の日本人の軌跡。「花の星座を作りたい」。そんな夢から…。

「まじよまじよせんせいやってきた！

鶴岡千代子 著

「ねえいいことおしえてあげようか」きょうはタンポポようちえんのしぎょうしき。ならんだとなりどうしでユタカとリュウのひそひそばなし。「あのねえ…きょうあたらしいせんせいがくるんだってさ」そのせんせいはほんとうはまじよだったの?!



おしらせ

連絡
募集
行事

四月は山火事

予防月間です

多くの皆さんが登山やハイキングなどを楽しむ季節がやってきました。

しかし、空気が乾燥し風も強く、火の取り扱いには十分注意をしなければならぬ時期でもあります。

次のことを守って火災を出さないようにしましょう。

- ① たばこの投げ捨てはしない。
 - ② 枯れ草などのある危険な場所ではたき火をしない。
 - ③ 強風時にはたき火や火入れをしない。
 - ④ たき火や火入れをするときは必ずバケツや消火器を準備しておく。
 - ⑤ たき火や火入れをしたときは、現場から離れない。
 - ⑥ 消防機関への早期通報用には携帯電話等を用意する。
- ※携帯電話の通報は

可茂東消防署二一六四一
東白川分遣署八一三一一〇
⑦ 火入れをする場合には、必ず消防署へ届け出る。

各種イベント

参加者募集

▼第二回みどりのつどい
日時／五月二十四日(土)
場所／伊自良青少年の家
内容／写生会、野外炊事
(バーベキュー)

くわしくは／岐阜県伊自良青少年の家 ☎ 〇五八一三六—三三三三

▼自然に親しむつどい
日時／五月二十四日(土) 二十五日(日)

場所／関ヶ原青少年自然の家

内容／そばの種まき、アマゴの塩焼き、伊吹山登山
くわしくは／岐阜県関ヶ原青少年の家 ☎ 〇五八四一四三—五二一六

▼森林浴とスケッチのつどい
日時／五月十日(土) 十一日(日)
場所／御嶽少年自然の家
内容／雪の残る森林の散策

と植物などのスケッチ
くわしくは／岐阜県御嶽少年自然の家 ☎ 〇五七六一六二—三六五五

最高裁判所

からのお知らせ

昭和二十二年五月三日に日本国憲法が施行され、最高裁判所が発足してから、五月三日で五十周年を迎えます。

その間、最高裁判所は法令及び行政の処分が憲法に適合するかしないかを最終的に決定する「憲法の番人」としての役割を果たしてきました。

この最高裁判所の五十年を記念し、国民の皆さんに最高裁判所をよりよく理解していただくために、各種の行事を実施し、また、記念切手も発行する予定です。

今後最高裁判所が皆さんの期待に応え、その責務を果たしていくことができよう、更に努力と工夫を重ねていきたいと考えております。

清流白川を守る

ボランティア活動

「清流白川をいつまでも美しく」と三月二十日に七十名の皆さんでゴミ拾いや草刈りなどの美化活動を行いました。

今回行ったのは、五加地区の南北橋周辺。この付近は東白川村八景にも選ばれている風光明媚なところで、長野県の「寝覚ノ床」に似ていることから「白川寝覚」とも呼ばれています。

村では、今後、神土、越原地区にも重点整備地区を指定し、こうした活動を行っていきます。



三月上旬の昼下がり、自宅前の杉林から杉の花粉が煙

のように舞い上がっていた。ちょうど昭和三十年代に植林した杉が一人前に成長し、花粉症の人にとっては天敵である。今年量は去年の四倍ともいわれている。▼自分も二年ほど前に目がかゆく、鼻がむずむずしたことがあったが、これは花粉症ではなかったらしく、それ以来は何ともないようである。▼自分の周りにも何人かの花粉症の方がおられるが、くしゃみが出たり涙が出たり、大変憂うつなことだと思ふ。▼昔は天気予報にスギ花粉情報などなかったのに、今ではスギ、ヒノキ科花粉情報が公然となっており、テレビでも花粉症の特集番組を組むこともある。▼花粉症は単に花粉そのものが原因ではないそうで、本来なら花粉も地面に落ち、土に浄化されるはずが、自動車の排気ガスなどにより地球環境のサイクルが崩れてきたのも問題だといわれている。▼すべて落ち着くところは自然を大切にすることのようである。

(D)